

福島第一原子力発電所 陸側遮水壁の凍結運転開始について

- 本日（3月31日）11時20分に冷凍機1台目を起動し、凍結運転を開始。
- このたび凍結を開始したのは、第一段階のうちフェーズ1の凍結範囲である、海側と山側の一部（北側・先行凍結箇所）である。
- フェーズ1では海側を閉合することで、護岸エリアへの地下水の移動が堰き止められ、建屋周辺の地下水位が上昇し、建屋内外水位の逆転により建屋内滞留水が漏えいするリスクが低減する。その後、フェーズ2において山側の95%以下を閉合することで、建屋周辺への地下水の流入量を減らすことができ、第一段階として、汚染水の発生を抑制することができる。
- 陸側遮水壁の運用にあたっては、建屋内滞留水と建屋周辺の地下水位が逆転し、建屋内滞留水が漏えいすることがないように、安全第一にしっかりと水位管理を行っていく。
- 第一段階では陸側遮水壁の運用状況を確認するため、第二段階・第三段階への移行に必要なデータを収集し、評価していく。

本内容は、経済産業省「平成25年度汚染水処理対策事業補助金（凍土方式遮水壁大規模整備実証事業）」の成果による。

福島第一原子力発電所 陸側遮水壁の凍結運転開始について



運転開始操作の様子
(1台目)



運転開始操作の様子
(2台目以降)